

会議記録

【2012/2/22 作成者 ; 渡部】

第3回 (通算)	実施年月日	2012年2月20日(月)
	実施時間	13:30～ 15:30
開催場所	庄内総合支庁	
参加者	山形県教育センター 指導主事	齋野正能
	鶴岡市立由良小学校 教頭	鈴木義彦
	酒田市立泉小学校 教務主任	佐藤千佳夫
	環境カウンセラー	井東敬子
	山形県庄内総合支庁環境課 課長	石垣清志
	同上 課長補佐	蛸井義久
	同上 主査	渋谷陽一
	特定非営利活動法人パートナーシップオフィス	金子博、石塚一品 大谷明、渡部陽子、黒島龍之介
会議内容	<p>1. 開会挨拶 (庄内総合支庁環境課)</p> <p>2. 第2回研究会について (確認)</p> <p>3. 意見交換など</p> <p>(1) 環境教育素材データベースの提案について</p> <p>○どこまでパスワード制限を設けるか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の人が見られるようにした方がいいと思うが、明かに個人情報が出てしまうところ (授業案等) だけにパスワードを設け、狭い範囲でクローズすると良いのではないか。</li> </ul> <p>○来年度小学校の総合学習とのタイアップについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル的にどこかの学校を選定し、年計画など作って、研究授業形式で共有、その後データベースとしてアップし、他の学校の教員にも見ていただくようにしたらよいのではないか。年間を通して活用するのは大変なので、数回でもしてくれる学校があれば良い。</li> </ul> <p>○サーバの管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県のHPにリンクしても、更新するのが大変なことを踏まえると、民間のNPO等がサーバの管理を引き受けることも考えられる。その場合、年間10万円程の管理代がかかっていた経緯があるので、同額程度の管理費を捻出しなければならない。</li> </ul> <p>(2) その他の環境教育教材グッズについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑多に入れておいて、「分類させる」=「自分たちが関わっている」、というところを感じさせる必要がある。あまりにもキレイに分けられていると、考えるということをしなくなるので、子どもが自由に使える素となる教材が良い。(佐藤)</li> <li>・海だけではなく河川ごみを使った教材もあると良い。(鈴木)</li> </ul> <p>○どこに教材の拠点を置くか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織はあっても、空間としてあるところは意外と少ないが、理科教育センターあたりが良いのではないか。</li> </ul> <p>○今後の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の早い時期に素材データベースが公開できる状態にしたい。現場で使用してもらって、改良していきたい。</li> </ul>	
次回開催	<p>○未定</p> <p>○3月下旬の第4回研究会の実施に向けて、適宜関係者間で連絡調整する。</p>	